

令和元年（2019年）年11月7日

保護者の皆様

札幌市立北都中学校

校長 高橋 伸 吾

平成31年度 全国学力・学習状況調査 本校の調査結果の概要について

秋冷の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施されました標記の調査につきまして、文部科学省から学校にその結果が届き、先頃、保護者の皆様にも生徒を通じて個人票をお渡ししたところです。

本校においては、今回の調査結果をもとに、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。このほど、その結果がまとまりましたので、その概要について保護者の皆様にお知らせいたします。御家庭での指導等に御活用ください。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 対象学年

- ・中学校第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

〔国語、数学、英語〕

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

(2) 質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査実施日

平成31年4月18日（木）

5 本校調査結果の概要

別紙参照

【別紙】

全国学力・学習状況調査 北都中学校の調査結果の概要について

記号のみかた（全国平均正答率と本校の正答率を比較して）

△：上回っている（+3.1%以上）

◇：ほぼ同程度であるがやや上回っている（0～3.0%）

◆：ほぼ同程度であるがやや下回っている（-3.0%～0）

▼：下回っている（-3.1%以上）

	区 分	主として知識
国 語	話すこと・聞くこと	▼下回っている
	書くこと	▼下回っている
	読むこと	▼下回っている
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◆ほぼ同程度であるが やや下回っている
数 学	数と式	▼下回っている
	図形	▼下回っている
	関数	▼下回っている
	資料の活用	▼下回っている

	区 分	主として知識
英 語	聞くこと	◆ほぼ同程度であるが やや下回っている
	読むこと	▼下回っている
	書くこと	▼下回っている

今回の調査における良い点と今後の課題と改善の方向性

	良い点	今回の調査における課題	改善の方向
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと。 ・ 封筒の書き方を理解して書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと。 ・ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。 ・ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容や情報を正確に読み取る指導を充実させるとともに、全体の構成や論の展開に自ら気づき、考えることができる学習指導の工夫。 ・ 伝えたい事柄が相手にわかりやすく伝わるように書くことの指導とその力の育成。
	良い点	今回の調査における課題	改善の方向
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代入法を用いて連立方程式を解くこと。 ・ 三角形の合同条件を理解し、正しく書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられたグラフからその特徴を読み取ること。 ・ 資料の特徴、傾向を数学的にとらえ、分析し、表現すること。 ・ 資料の整理の中で扱われる基本的用語の意味を理解し、活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学で扱われる、基本用語を確認し、活用することの指導と、その力の育成。 ・ 関数について、いろいろなパターンの問題に取り組み、その指導方法の工夫と改善。 ・ 計算の反復練習で早く正確に計算する力の育成。
	良い点	今回の調査における課題	改善の方向
英 語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること。 ・ 文の中に適切な接続詞を用いること。 ・ 交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解すること。 ・ 与えられた情報に基づいて、一般動詞の2人称単数現在時制や3人称単数現在時制の文を正確に書くこと。 ・ 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章全体を通して、段落相互の関係を考えながら読ませたり、読みやすい部分を手掛かりにしなが、読みづらい部分を推測して読み進める力の育成。教科書や他の題材を多く読ませる活動の工夫と充実。 ・ 場面・状況・目的に応じ、様々な個別の知識を生徒が活用してコミュニケーションしたり、文を書く指導の充実。 ・ 短い準備の中で考えを整理し、目的・場面・状況に応じた情報を加えて、自分のやりたいことや夢を伝え、話しを続ける活動の充実。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

生徒質問用紙の調査結果概要では、全国と比較して本校生徒の「肯定的な回答の多いもの」と、「肯定的な回答の少ないもの」の特徴が表れているものを学校として選択してお知らせいたします。

生徒質問紙で全国と比べて肯定的回答が多かった項目
<p>「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」</p> <p>「読書は好きですか」</p> <p>「1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」</p>
生徒質問紙で全国と比べて肯定的回答が少なかった項目
<p>「学校の部活動に参加していますか」</p> <p>「1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」</p> <p>「数学の勉強は好きですか」</p> <p>「数学の授業の内容はよく分かりますか」</p> <p>「英語の授業はよく分かりますか」</p>
質問紙調査の結果より
<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対して「好き」「よく分かる」と回答する生徒の割合が全国より低い傾向ですが、先生は「分かるまで教えてくれる」と回答する生徒の割合は高いです。今後も、個に応じた指導を進めて参ります。 ・読書が好きと回答する生徒の割合が多く、朝読書の効果も見られます。 ・ICT機器の使用について肯定的回答が全国と比べて低いですが、今年度から全教室に実物投影機を設置するなど、改善を図っています。

札幌市では、さっぽろっ子『学び』のススメとして、学校と家庭が一体となって、子どもの学習習慣・運動習慣・生活習慣づくりを推進しております。御家庭でも子どもと一緒に『学び』を進めていただければ幸いです。



<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/documents/manabinosusume.pdf> より

以上の情報は、北都中学校ホームページからもご覧になれます。

<http://www.hokuto-j.sapporo-c.ed.jp/>